

応援の声、続々!

名を残す作家は各々
いくつかの里程碑を持つ。

『ひまわり』はまぎれもなく、
そうした小説である。

中山七里 (作家)

ひまりならでできる、できるよ、大丈夫。

目の前のページに向かって、何度もそう呼びかけてしまう。

リハビリも、司法試験も。次々と迫りくる壁はとても高いのに。

そこで挫けないひまりの輝きが、

あまりに眩しい一冊だ。

辻堂ゆめ (作家)

世の理不尽に黙ってなんかいない。

武器を磨け 味方を集めろ 作戦を練り上げて

勝ち取れ! 傷だらけででっかく笑え!

それが彼女の戦い。これは、わたしたちの戦い。

鈴木保奈美 (俳優)

道がないのなら、つくればいい。

弁護士になることがわかっていても、

立ちほだかる無数の壁に

ハラハラしながら読み進めました。

言葉の力で道を切り開くひまりの姿に、

ただただ圧倒される一冊です!

宮島未奈 (作家)

ある日事故に遭い、頸髄を損傷してしまったひまり。

リハビリを続けるも復職の夢は潰え、一念発起して弁護士を目指す。

不屈の魂が輝く、人生応援小説!

新川帆立

Shinkawa Hotate

幻冬舎

ひまわり